

元イスラエル空軍兵士ダニー・ネフセタイさんのお話を聴く会

平和は相互理解が大切

ーイスラエルは何故、パレスチナ・ガザを攻撃するのか？

日時：2025年11月30日（日）

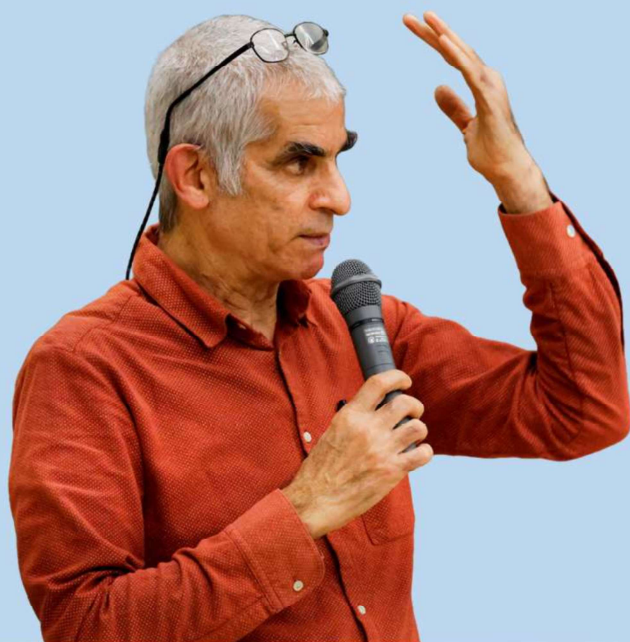
午後1時30分～3時30分

場所：袋井市教育会館4階大会議室

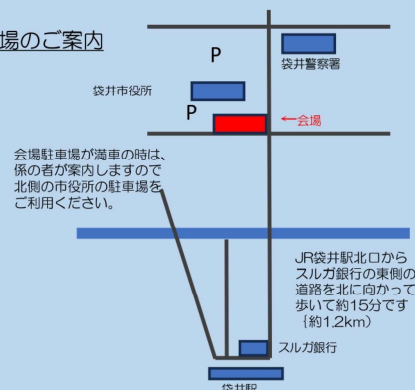
（袋井市新屋1丁目2-1）

※ 入場無料で、事前申し込みは必要ありません。

※ どなたでも参加できます。



会場のご案内



パレスチナ・ガザの人々の苦しく悲しい状況に、世界の多くの人々が心を痛めています。一体何故、抵抗手段を持たないガザの人々（子どもや女性、老人を含む普通の市民）を、イスラエル軍は一方向的に攻撃するのでしょうか？

かつて600万人ものユダヤ人がドイツのナチス政権により虐殺されました。そのような悲しい歴史体験を持つイスラエルの政権と軍隊が、私たちから見ればアラブ人虐殺と思える空爆・ミサイル攻撃・銃撃を続けるのでしょうか？ またイスラエルに住む普通の人々は攻撃を何故支持するのでしょうか？ アメリカは何故イスラエルを擁護・支援するのでしょうか？

イスラエルで生まれ、高校・軍隊生活までイスラエルで教育（軍事訓練含む）を受けたダニー・ネフセタイさんが、自分が受けた教育・イスラエルの歴史・パレスチナの歴史を紐解きながら、私たちの疑問に答えてくれます。ダニーさんの経歴や著作を通して、彼の思い・話される内容を想像してください。

ダニー・ネフセタイさんのプロフィールと著書

- 1957年 イスラエル生まれ
 - 1975年 高校卒業後、徴兵制によるイスラエル軍入隊。空軍にて3年間兵役を務める。レーダー部隊。
 - 1979年 退役後 アジアの旅に出る。10月来日。日本各地をヒッチハイクなどで旅をし、交流を深める。日本語学校にて更に深く言葉を勉強し、その後神奈川の家具会社に勤める。
 - 1988年 東京より埼玉県皆野町金沢へ引っ越す。「木工房ナガリ家」を開設。
 - 1999年 埼玉県秩父郡皆野町金沢・出牛に自宅のログハウスを夫婦で自力建設。
- 現在は夫婦で注文家具、遊具、木工小物、社会性オブジェの創作活動。ギャラリーにて個展、グループ展など多数開催。一男二女あり。
- その他社会活動として 講演活動中。テーマは 「どうして戦争しちゃいけないの？」 「気づき・戦争と人権」 「外国人の目に映る人権」 など。保育園、小、中、高、大学、公民館活動、自治体、サークル、個人宅で行っています。



『国のために死ぬのはすばらしい？』

ーイスラエルからきたユダヤ人家具作家の平和論ー

前半は著者の生い立ち、イスラエルの愛国心教育、軍隊経験を中心に、日本で根を下ろすまで。後半は平和運動・脱原発の活動を通して仲間と出会い、イスラエルと日本のより良い未来のための提言。



『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』

ー「抑止力」という考えはもうやめようー

憲法九条の価値を誰よりも評価するのはリアルな戦争が絶えない国から来た外国人アクティビストなのである。母国のさまざまな矛盾点を指摘しつつ、軍備増強の道を進む日本の在り方にも異議を唱える一冊。



『どうして戦争しちゃいけないの？』

ー元イスラエル兵ダニーさんのお話ー

若者たちに自分たちの手で幸せな社会をつくれるよという希望を伝えたいと思っています。この本がこれから自分がどう行動するかを考える入り口となってくれたらうれしいです。（前文から）



『ダニーさんのちゃぶだい』（絵本）

ーもの造り/ものの破壊ー

日本に住み始め、ずっと戦争をする自分の国、しかし暴力は何も解決することはできない、話し合いこそが大切だと気づきました。本職は家具を作る職人ですが、平和を唱える活動を始めたのです。

主催：袋井憲法九条の会 連絡先 竹野 0538-43-3456

後援：袋井市・袋井市教育委員会

中日新聞東海本社、朝日新聞静岡総局

「九条の会」は第9条を含む日本国憲法を護ることを目的として、作家など9人が呼びかけ人となって2004年に作られた団体です。日本全国で地域や職域等を単位とした会が活動しています。